

鍋割山（寄からの周回）

【山域・山】 丹沢 鍋割山(1,272m)

【形式】 ハイキング

【日程天気】 平成30年5月27日（日）晴れ

【メンバー】 CL 佐藤・澤田路・三輪・宮城・吉瀬

【行程】 寄(やどりき)大橋(400m)7:30ー寄沢 8:20ー寄コシバ沢ー
雨山峠(920m)9:30ー棚沢ノ頭ー鍋割峠ー鍋割山 10:50（休憩）11:20
ー後沢乗越(800m)12:25ー山の神ー寄大橋 13:40

『週末、日帰りで山行したいな。』とっていたら

週末日曜が空いているので丹沢日帰りハイクに行きます。

寄（やどりき）から鍋割山周回の変化に富んだ楽しいコースです。

寄沢の岩は白く、新緑と青空（晴れば）とのコントラストが美しい！ Stさんの公募

計画書と地図が届く。メンバーは久しぶりに一緒するSdさんMwさん。!(^)!
計画書の注意事項に

『高度計があれば、各ポイントで標高を確認してください。 寄大橋 400m、
鍋割山 1,272m、後沢乗越 800m。ついでに、後沢右岸尾根の下降点も見つけ
てください。1.030m 付近赤テープあり。』とある。

ポイント

- ・雨山峠ー鍋割山は途中に鎖場があります。
- ・濡れるような渡渉はありません（たぶん）。
- ・鍋割山山頂では名物なべ焼きうどんを食べられます。
- ・後沢左岸尾根はいちおう初心者向けバリエーションルートです。

とのこと♪

ドキドキ・ワクワクのスタート。

寄大橋を渡った駐車スペースに駐車し、約20分林道を歩き、登山道入口に
到着。澄んだ清流を見、鳥のさえずりを聞きながらウツギ・藤・山ツツジの咲
く新緑のトンネルの登山道を進む。とても気持ちが良い。暫くすると数カ所渡渉。
ここ数日晴天なので川の水量は少なく川幅はいずれも1m前後だが、流れの速
い所もある。

CLは渡りやすいルートを選んでくれるのだが、私は足を滑らせポチャ。
気持ちで負けている。

寄沢で白い岩を眺め、水の音を聞きながら木陰で休憩。

寄コシバ沢の辺りでCLが何かの鳴き声に気づく。皆で耳を澄ますと水辺の岩の奥からカエルの鳴き声。『なんていっているのかな？』

長い階段を上がって、雨山峠に到着。

棚沢ノ頭周辺は鎖場が数か所。ザレたアップダウンは鎖が頼り。鍋割峠から鍋割山への急登は、ほとんど丸太の階段。息が切れ汗だくになりながら鍋割山頂到着。ここまでで会った登山者は6人。山頂では大勢の登山者が鍋割山荘名物の鍋焼きうどんを食しながらお寛ぎ。オーバーヒート気味の私たちは芝生に腰をおろし行動食でランチタイム。鍋焼きうどんは次回のお楽しみ。



大倉に向かうルートは大勢の登山者が登ってくる。

後沢右岸尾根1030m付近の下降点に赤テープがあるのを確認し、後沢乗越に向かう。今回の下山ルートの後沢乗越の先からの初心者向バリエーションルート（後沢左岸尾根）は赤テープがしっかりあり、よく整備されていたが他の登山者には会わなかった。数カ所にかけてられた丸太を組んだ橋は少し古いので、一人ずつ渡ったが、滝の見える素敵なコースだった。

CLはこのコースは3回目。「3・4年前より寄大橋からのルートは赤テープが増え、鎖も新しくなっている。」とのこと。

下山後、秦野市の『湯遊三昧♨湯花楽』の高濃度炭酸泉に入浴。楽しい時間はあっという間に過ぎ、CLとMgさんの上手な運転のおかげで明るいうちに帰葉。

すてきな山行をどうもありがとうございました。（*。^*）

佐藤（写真）吉瀬（記録）

今回のコース

